



A 日程

二〇二三年度

尚綱学院高等学校

入学試験問題

国語

試験時間(五〇分)

注意事項

- 一. 「始め」の合図があるまで問題の表紙を開かないでください。
- 二. 解答用紙には決められた欄に受験番号のみ記入し、氏名は書かないでください。
- 三. 解答は必ず解答用紙のそれぞれ決められた欄に記入してください。
- 四. 印刷が見えにくい場合は、手をあげて監督者の指示に従ってください。
- 五. 考査が終わったら、解答用紙と問題用紙を別々にしておいてください。
- 六. その他すべて、監督者の指示に従ってください。

受験番号

--

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

なんとということだ。

あまりのショックに、ナサニエル・シルヴァーバーグは呆然ぼうぜんとしていた。なぜだ。

さつきから、その疑問ばかりが繰り返し浮かんでくる。

ふと、自分がひどく汗を掻かいていることに気付いた。

なんでここはこんなに明るいんだ？

X 辺りを見ると、各賞の発表に、和やかな拍手が続いており、顔を上気させた若者の横顔が見えた。

ああ、まだ終わってなかったのか。

ここが舞台の上で、表彰式だということすら忘れていたのである。

人は言う。勝負は時の運だと。

A そんなことは分かっている。下馬評がいかにかにアテにならないか。勝負は水もので、蓋を開けてみなければ分からない。そんなことは先刻承知だ。

だが、今回は。今回だけは。たった一回でいいのだ、他の時はどうでもいいし、残りをすべて負けてもいい。だが、今回だけは下馬評通りであつてほしかった。

ナサニエル・シルヴァーバーグが優勝確実。その大方の予想通りであつてほしかったのだ。

ああ、それなのに――

一位なし。二位二人。

さつきその結果を耳にして以来、彼の時間は止まってしまっている。

一位なし。

その意味するところは明らかだ。優勝に値する者はいない。優勝に値する演奏をした者はいなかった。

もちろん、このコンクールがたいへんな難関で、めったに優勝者を出さないことは知っている。些ちかか頑固がんこなまでに格式も基準も高く設定された、由緒ゆいしょあるコンクールであり、このコンクールで一位なしの二位というのは、じゅうぶん音楽家

のキャリアとして通用する順位であるということも。

だが、それでも――

一位なし。

それがどんなに屈辱的なことか、この女は分かっているのだろうか？

B ナサニエルは、まるで異星人でも見るような目つきで隣に立っている少女を見た。

平然と、ふてぶてしいとすら言えるような落ち着いた横顔を見せて立っている若い東洋人女性を。

長い黒髪を後ろで一つに結わえている。整った横顔と、やたらと長い睫毛まつげが目についた。

こいつさえいなければ。

C しきりとそんな考えが浮かんでくる。

東洋人にしては背の高いほうであろうが、それでも大柄なナサニエルに比べると二十センチは低い。

Y さきほどから繰り返し、彼女に目をやってみよう。凛りんとした立ち姿。

D 顔も、東洋人にしては彫りが深く、目もはっきりとして大きな黒目が印象的だ。コンクール中、余計な情報はシャットアウトすることになっていた。

他のコンテスタントの演奏を聴くこともなく、噂うわさや評判もなるべく耳に入れないうようにして、ステージ以外は極力一人で、静かに集中して過ごすように努力していた。

それでも、やはりどこからともなく噂は入ってきてしまう。

日本人の若い女の子で、素晴らしくヴィヴィッドでドラマチックな演奏をするコンテスタントがいる。マルタ・アルゲリッチの再来のような――審査員も興奮し、絶賛している――彼女がダークホースになるかもしれない――

審査発表はむろん下位から始まる。

六人の入賞者のうち六位の名前からスタートし、次々と三位までが発表され、残り二人は、予想通り、この東洋人女性とナサニエルになった。

興奮と緊張が最高潮を迎えて、全会場の注目を集めた思わせぶりの間を置いて、その結果が発表されたのだった。

第二位、ミエコ・サガ。
わーっという大歓声。

少女の肩が凍りつくのが分かった。
ナサニエルは、その瞬間「やった」と思った。

パツと自分の顔が明るくなったのが分かる。

そう、下馬評通り。俺が優勝を勝ち得た瞬間だ、とすこぶる満足したとたん、
声が聞こえてきた。

そして、同じく第二位、ナサニエル・シルヴァーバーグ。
えっ、と思った。

何が起こったのか、自分が何を聞いたのか、しばらくのあいだ理解できなかったのだ。

その瞬間の凄まじい喚声は、果たして驚きか嘆きか怒りか。とにかくものすごい喚声の中で、ナサニエルの時間は止まってしまったのだ。

いったいどれくらいの時間が過ぎたのか。

気が付くと、スタッフが脇にいて、ステージからの退場を促されていた。

トロフィーを手に、ぎくしゃくと歩いて袖に引き揚げる。

袖の暗がりですタッフが拍手をしているが、まだナサニエルは強張った表情のまま、何も応えることができなかった。

と、彼の前を歩いていた少女がピタリと足を止めると、くるりとこちらを振り向いた。

燃えるような大きな目を見開いて、ぐいと顔を上げ、ナサニエルを睨みつけている。

それが憤怒の表情であることに気付き、ナサニエルは面喰らって、つられて足を止めた。

「×××××！」

一瞬、言葉が聞き取れなかった。

早口で何事かまくしたてられたが、意味が分からなかったのだ。

少女は顔を赤く上気させていたが、ふと、「あ、イギリス人か」と英語で呟き、

もう一度英語で言い直した。

「何か文句あるってえの？ 恨めしそうな顔で、やたらとこっちガン見しちゃう

てさ！ 何よ、その連獅子踊れそうな頭は。あなたね、噛み付きそうな顔でみじめったらしく睨んでないで、言いたいことがあるなら、はつきり言いなさいよ、はつきり！」

罵り口調ではあるものの、紛れもないクイーンズイングリッシュである。

それで、「あ、さっきのはスペイン語だったのか」と気付いた。

「レンジシ」が何なのかは分からなかったが、髪の毛が多いことを揶揄されたらしい。

ナサニエルは **Z** 頭に手をやった。

そんなことを言われても、髪の毛多いのは生まれつきだ。あんたは生まれた瞬間から、髪の毛がふさふさしていてみんな驚いたと親から繰り返し聞かされたものだ。

それはともかく、いきなり正面からまくしたてられて、ナサニエルは目をばちくりさせたまま、何も答えることができなかった。

感情の発露に乏しいと言われる日本人の、しかもおとなしく従順なイメージのある若い女性の口から、かのような激しい言葉が出てきたことに驚いたというのもある。その声が想像よりも低く、野太いと言つてもいいことも意外だった。

少女は顔を真っ赤にしてわなわなと身体を震わせていたが、突然、ぐしゃりと顔を歪ませた。

手にしたトロフィーにちらりと目を落とす。

「——あたしだって、文句言いたいわよ」

ぼろぼろと大粒の涙がトロフィーの上に零れ落ちる。

「二位なんて。二位だなんて——なんの役にも立ちやしない。これが最後のチャンスだったのに」

吐き捨てるような低い声。

そして、トロフィーを握りしめたまま、いきなり俯いて「うわーん」と大声で泣き出したのである。

(恩田陸「祝祭と予感」による)

【注】

* 1 下馬評：第三者による興味本位の批評、噂。

* 2 クイーンズイングリッシュ：英国の標準英語。

問一 空欄 X、Y、Z に入る言葉の組み合わせとして

最も適当なものを、次の選択肢から選り記号で答えなさい。

- ア X 忌々いまいましげに Y 確かめるように Z 反射的に
- イ X いぶかしんで Y なだめるように Z 必然的に
- ウ X 正気づいて Y 安心したように Z おもむろに
- エ X 自信ありげに Y あせったように Z しぶしぶ

問二 「そんなこと」とはどんなことか。最も適当なものを、次の選択肢から選り記号で答えなさい。

- ア 勝ち負けの結果は、本人の努力や心構えでどうにでもなるということ。
- イ 世間の評判は適当であり、結果は本人にしか予測できないものであること。
- ウ いくら努力をしても勝負はそのときの巡り合わせで決まってしまうこと。
- エ 一度勝負で負けたからといっても、まだまだ挽回ほんかいの機会はあるということ。

問三 「この女は分かっているのだろうか」とあるが、どういうことがわかっていないとナサニエルは考えているのか。解答用紙の「一位なしの二位二人」ということは、……こと。」に当てはまる形で、……のところを五十字以内で書きなさい。

問四 「そんな考え」とはどんな考えか。その内容として最も適当なものを、次の選択肢から選り記号で答えなさい。

- ア 「彼女」の出場が自分にとっての脅威となり、コンクールの演奏に失敗して優勝を逃したのではないか。
- イ 「彼女」が女性であるという点が加味されているため、審査員の評価が高くなってしまったのではないか。
- ウ 「彼女」がコンクールに出場しなければ、かねてからの予想どおり自分が優勝していたのではないか。
- エ 「彼女」の演奏はたしかにドラマティックではあるが、技術力では自分の方がはるかに勝っているのではないか。

問五 「コンクール中、余計な情報はシャットアウトすることにしてきた」とあるが、それはなぜか。その内容として最も適当なものを、次の選択肢から選り記号で答えなさい。

- ア 自分の演奏に対する周りからの期待を遮断し、できるだけ孤独を感じることで、自らの演奏に深みが出ると思ったから。
- イ 自分以外のコンテストの演奏や、評判や噂を気にしてしまい、自分の演奏に集中できず悪影響を与えると考えたから。
- ウ 日本人の彼女の噂を聞くことで美しい彼女のことを思い出してしまい、練習に集中できなくなってしまおうと考えたから。
- エ マルタ・アルゲリッチの再来と呼ばれる彼女の情報を得て、そのテクニクを学び取るうとしていていると思われたくなかったから。

問六 「それが憤怒の表情であることに気づき、ナサニエルは面喰らって」とあるが、この後彼女に怒りをぶつけられたナサニエルの心情として最も適当なもの、次の選択肢から選り記号で答えなさい。

- ア いきなり正面から答える隙がないほどに彼女にまくしたてられ、外見のことまで文句をつけられたことに強い憤りいきどおを感じている。
- イ 日本人の若い女性のおとなしく従順なイメージを覆すくつがえような激しい剣幕と、意外なほど威圧感のある声に、驚きを感じている。
- ウ 勝手にこちらをライバル扱いする発言や、か弱そうに見えた女性が口にしそうな悪口を聞かされて、迷惑に感じている。
- エ 実力のある彼女のことをもっと知りたいと考え始めていたのに、荒々しい言葉でのしり嘲られ、拒否されたと感じている。

問七 この文章の表現上の特徴として適当でないものを、次の選択肢から一つ選び記号で答えなさい。

ア 主人公の心の言葉を随所に挿入することで、心の中の動きがテンポよく表現されている。

イ 登場人物の表情や様子、行動などの細かい描写があり、心情が読者に伝わりやすく工夫されている。

ウ 情景描写を多く取り入れることで、この先のストーリーの展開を暗に示している。

エ 所々に擬態語を取り入れて、登場人物の動きや様子などをいきいきと表現している。

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

You are what you ate.

「汝とは、汝の食べた物そのものである」

こんな諺が西洋にある。食べ物の種類、つまり食環境が私たち生物のありように大きな影響を与えることを指している。

けれど、それは文学的な比喩としての確であるという意味だけではない。生物学的に極めて正確な表現でもある。

私たちの身体は、たとえどんな細部であつても、それを構成するものは元をたどると食物に由来する元素なのだ。

実際、私たちの身体を調べると、私たちが何を食べているかがわかる。生命が失われても、身体の一部――Y骨が残っていたら、生前の生活を垣間

見ることができると。食環境の痕跡は長い年月を経ても残ることになるのである。沖繩の中部に野国貝塚と呼ばれる遺跡がある。ここから多数のイノシシの骨が発掘された。調査の結果、この遺跡は少なくとも六〇〇〇年前にまで遡れることが明らかになった。

今でこそ、沖繩はアグーと呼ばれるおいしい豚肉で有名になっているが、古代琉球人はすでに豚の先祖であるイノシシを食べていたのだ。いったい、彼らは

イノシシをどのように手に入れたのだろうか。

北海道大学の南川雅男教授は、この骨を分析することにした。イノシシたちが何を食べていたのか、骨から推定できるというのである。

その結果、Z興味深いことが判明した。このイノシシたちの餌は、野生の草や木の皮ではなく、人間が食べていたものと同じだった。つまり古代琉球人

たちは、野生のイノシシを狩猟していたのではなく、すでに家畜化していたのだ。原理はこうである。骨の主成分はカルシウムだが、そこには骨と骨を繋ぐ役割

を果たすコラーゲンというタンパク質も存在している。数千年を経ても、骨の内部に封じ込められた微量のコラーゲンは失われることなく乾燥したまま残っていることがある。

骨からコラーゲンを注意深く抽出し、そこに含まれる炭素を分析する。するとその由来がわかる。イノシシ（あるいは私たちヒトでも同じことだが）のコラー

ゲンに含まれる炭素は、イノシシが食べた炭水化物の炭素から来ているからである。

自然界の炭素は、その重さを示す値である「質量数」が12のものがほとんどを占めている。しかし、非常にわずかながら質量数13の炭素というものが存在している。それらは大気中の二酸化炭素の中に散らばっている。

もちろん、私たちは質量数12の炭素と質量数13の炭素の違いなど、あまりに微妙すぎて、息を吸おうが吐こうが、識別することはできない。

ところが、植物の精妙な光合成では、この差が出るのだ。植物は太陽エネルギーを使って二酸化炭素から炭水化物を合成する。このプロセスは植物によって異なっている。一般の草木(C₃植物)は、とりたてて炭素を選び好みしない。

ところが、ヒエやアワといった雑穀類、トウモロコシのような穀物類(C₄植物)は、質量数13の炭素を好んで光合成を行う。その結果、これら穀物類の炭水化物には、通常の植物よりも多い比率で質量数13の炭素が濃縮されることになる。

I を常食とする動物のタンパク質は野生植物の炭素から作られる。
II を常食とする動物(ヒト)のタンパク質は、穀物の炭素から作られる。その結果、人間の骨のコラーゲンの中には、質量数13の炭素がより多く含まれることになる。

C 野国貝塚のイノシシ骨からも質量数13の炭素がたくさん検出された——ということは、そのイノシシが人間と同じ穀物を食べていたことを意味する。古代中国では、人間のトイレの下に造った囲いの中でイノシシ、もしくは豚を育てていたという。人間の残飯などを与えることもあったはずだ。

当時、このように育てられたイノシシが古代琉球に輸入されていた、あるいは、その飼育方法が伝達されて、琉球人たちはイノシシを飼っていた。そして、彼らは数千年の昔から焼肉に舌鼓したつづみを打っていたのである。

同じ元素だが、重さがわずかに異なるもの(これを同位体という)を利用して、炭素だけでなく、窒素を調べることも可能だ。

窒素には、質量数14の普通の窒素と、質量数15の重窒素がある。食物連鎖の上位者、つまり草食よりも肉食、同じ肉食でも、魚よりそれを食べる海獣類というように、上位の肉食者になればなるほど、その者のタンパク質中の重窒素の比率が上昇することが知られている。

つまり遺跡の人骨のコラーゲンを分析すると、彼らがベジタリアンだったのか、あるいは肉食主義者だったのが判明する。

同時に、炭素の同位体を分析すれば、ベジタリアンでも野草の採集によってサラダを作っていたのか、それとも穀物倉を持っていたのかがわかるのである。

D 南川教授たちは、このような手法によって、たとえばオホーツク沿海州の遺跡から、当時この地域に住んでいた人びとが、魚類よりもトドやセイウチなど海獣の肉を好んで食べていたと推理している。

E 化学の力を借りて人類史を探る。いわば化学考古学は、古代人たちの豊かな食生活の様子を思いもかけないビビッドさで明らかにしてくれたのである。

(福岡伸一「動的平衡」による)

問一 空欄 X、 Y、 Z に入る言葉として最も適当なものを、次の選択肢からそれぞれ選び記号で答えなさい。同じ記号は二度使えません。

- ア 早晚
- イ 極めて
- ウ むしろ
- エ たとえば
- オ もちろん
- カ よもや
- キ とうてい

問二 「生物学的に極めて正確な表現でもある」とあるが、筆者がそのように考
えた理由として最も適当なものを、次の選択肢から選び記号で答えなさい。

ア 『汝とは、汝の食べた物そのものである』という諺が、客観的事実だけで
なく個人の考えや生き方など内面にまで踏み込む生物学の態度に通じている
から。

イ 食環境は生物学的にしか評価できない事柄であり、『汝とは、汝の食べた物
そのものである』という諺を比喩的な意味で捉えることは的外れだといえる
から。

ウ 『汝とは、汝の食べた物そのものである』という諺の文字どおり、人間の
身体は食物に由来する物質で構成され、その痕跡は死後でも生物学的に確認
できるから。

エ 生命が失われても、『汝とは、汝の食べた物そのものである』という諺どお
り、人間の営みが食物である植物に影響を与えた事実は科学的にも証明でき
るから。

問三 「彼らはイノシシをどのように手に入れたのだろうか」とあるが、その問
いの答えとして最も適当なものを、次の選択肢から選び記号で答えなさい。

ア 中国で狩猟されたイノシシを輸入していた。

イ 本土で飼養したイノシシを輸入していた。

ウ 家畜としてイノシシを飼養していた。

エ 琉球にいた野生のイノシシを狩猟していた。

問四 空欄 I、II に入る表現として最も適当なものを、次の選択肢から
それぞれ選び記号で答えなさい。同じ記号は二度使えません。

ア 炭水化物

イ 野生の植物

ウ 栽培したC₃植物

エ 自然界にもともとあった穀物類

オ 農耕によって収穫された穀物類

問五 「イノシシが人間と同じ穀物を食べていた」とあるが、その根拠として最
も適当なものを、次の選択肢から選び記号で答えなさい。

ア 野国貝塚のイノシシの骨のコラーゲンから、ヒエやアワなどの穀物に含ま
れる質量数12の炭素がたくさん検出されたこと。

イ 野国貝塚のイノシシの骨から人間の骨と同じように、穀物類の炭水化物に
多く含まれている炭素がたくさん混じっていたこと。

ウ 古代中国では、穀物を主食とする人間の排泄物はいちせぶつを飼っているイノシシに与
えたという言い伝えがあること。

エ アグー豚の先祖であると言われるイノシシが野国貝塚で実際に発掘され、
人間が飼っていたと証明されたこと。

問六 「このような手法」とはどのような手法か。「遺骨」という言葉を用いて、
四十字以内で書きなさい。

問七 「化学の力を借りて人類史を探索」とあるが、このことによってどのよう
な効果が得られたか。最も適当なものを、次の選択肢から選び記号で答えな
さい。

ア 今まで化学者が関与しなかった考古学の分野に、より多くの化学者が関わ
るようになった。

イ 今まで謎に包まれていた古代人の生活の全体像が、誰でも詳細にイメージ
できるようになった。

ウ 今までは注目されることのなかった古代人の生活が、一躍人々の注目をあ
びるようになった。

エ 今まで知ることができなかった古代人の生活の一部分が、より具体的に鮮
明なものになった。

第三問 次の傍線部のカタカナを漢字に直し、漢字はその読みをひらが

なで答えなさい。

- 1 タクみな話術でその気にさせる。
- 2 シュウシン時間は毎晩十時と決めている。
- 3 彼女は特別なタイグウを求めた。
- 4 モウレツな攻撃を受ける。
- 5 彼女の美しさにミリヨウされた。
- 6 丘陵地帯に住む人々。
- 7 自身の半生を省みる。
- 8 別宅で謝恩パーティーを催す。
- 9 快いメロディーが流れていた。
- 10 大衆を扇動して革命を進める。

第四問 次の各問いに答えなさい。

問一 次の(1)、(2)の傍線部の言葉は尊敬語・謙讓語・丁寧語のうちどれですか。

後のア〜ウからそれぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。

- (1) そちらでは冬になると雪が降るでしょうか。
- (2) 先生の所に後ほど参ります。

- ア 尊敬語
イ 謙讓語
ウ 丁寧語

問二 次の(1)、(2)の傍線部と文法的に同じものを、後のア〜エからそれぞれ一つ

ずつ選び記号で答えなさい。

- (1) 新たな注文はないようだ。

ア あの業者にはもう依頼しないつもりだ。

イ 地震に耐える構造もないに等しい。

ウ 寂しくないと言えば嘘になる。

エ マスコミに取り沙汰されないよう振る舞う。

- (2) あの子は東京から来た転校生らしい。

ア 女学生らしい髪型といえ、昔は三つ編みだった。

イ シロは毛並みがふわふわで、クリクリした目がかわいらしい。

ウ 明日の午前中は雨で、午後から曇り時々晴れらしい。

エ 会社での姿と違い、子供と遊ぶ彼はとても父親らしい。

問三 次の文を単語に分けると、いくつになるか。最も適当なものを、後のア～

エから選び記号で答えなさい。

その犬小屋は前に飼っていたシロのものだ

ア 十

イ 十一

ウ 十二

エ 十三

(問題は次ページへ続きます)

第五問 次の〈文章Ⅰ〉の古文と、それに対する会話である〈文章Ⅱ〉

を読んで、後の問いに答えなさい。

〈文章Ⅰ〉

昔、男ありけり。身は卑いやしながら、母なむ宮なりける。その母、長岡といふ所に住みたまひけり。子は京に *1みやづか 宮仕へしければ、まうづとしけれど、しばしばえまうです。ひとつ子にさへありければ、 *2 いとかなしうしたまひけり。さるに、十二月しはすばかりに、とみのこととて御文あり。おどろきて見れば、歌あり。

古いぬれば さらぬ別れの ありといへば

いよいよ見まく ほしき君かな

かの子、いたううち泣きてよめる。

世の中に さらぬ別れの *3 なくもがな

*4 千代ちよもといのる 人の子のため

(「伊勢物語」による)

【注】

- *1 宮仕へ：天皇の居所で仕えること
- *2 いとかなしうしたまひけり：とてもかわいがりなかつた
- *3 なくもがな：なければいいなあ
- *4 千代：千年、長い年月

〈文章Ⅱ〉

匝紀 これは、京の都で宮仕えしている息子と長岡に住んでいる母君との話なんだって。
 幹人 なるほど。母と息子は離れて住んでいたんだね。息子は【A】
 なんだね。
 匝紀 うん。母君にとつてたった一人の子供だから、寂しかっただろうね。だから息子に歌を書いた手紙を贈ったんだね。この手紙を「急ぎのこと」として贈ったのはなぜだろう？
 幹人 うーん。それは【B】 【C】からじゃないかな。「千代もといのる」からは、母君に対して【B】 【C】ほしいという子の願いが伝わってくるね。

問一 「いとかなしうしたまひけり」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

問二 空欄【A】に入る言葉として最も適当なものを、次の選択肢から選び記号で答えなさい。

- ア 母君に会いにいつも通っていたが、それでも母君は満足できなかった
- イ 母君の顔がみたくて何度も長岡に参上したが、母君は会ってくれなかった
- ウ 母君が会いたがっているのを知っていたが、自分はそう思っていなかった
- エ 母君に会いに行こうとしたが、そうたびたび会いには行けなかった

問三 空欄【B】に入る言葉として最も適当なものを、次の選択肢から選び記号で答えなさい。

- ア これ以上息子に迷惑をかけられないので、老いてしまう前に別れようと思
意した
- イ 老いてしまうと死は避けられないので、生きているうちに会いたいと思
だ
- ウ みすぼらしく老いたために息子に見放され、いよいよ縁を切られると感
じ
た
- エ 年をとると息子の顔も忘れてしまいそうで、今のうちに会うべきだと考
え
た

問四 空欄【C】に入る言葉を考えて、五字程度で書きなさい。

A日程

解答用紙〔国語〕

*の欄には記入しないこと。
句読点、記号は全て一字に数えること。

受験番号
得点
*

第一問

問一 ア

問二 ウ

一位なしの二位二人ということとは、

な	を	優
屈	意	勝
辱	味	に
で	し	値
あ	て	す
る	お	る
と	り	演
い	、	奏
う	そ	を
	れ	し
	は	た
	音	者
	楽	が
	家	い
	に	な
	と	か
	つ	っ
	て	た
	相	こ
	当	と

問四 ウ

問五 イ

問六 イ

問七 ウ

第二問

問一 X オ

問二 ウ

問三 ウ

問四 I イ

問五 I オ

問五 I イ

遺	れ
骨	て
か	い
ら	る
コ	元
ラ	素
ー	の
ゲ	同
ン	位
を	体
抽	を
出	調
し	べ
、	る
そ	と
の	い
中	う
に	手
含	法
ま	。

問七 エ

第三問

※楷書で大きく丁寧に書くこと。

1 巧	2 就寝	3 待遇	4 猛烈
み	シユウシン	タイグウ	モウレツ

5 魅了	6 きゆうりよう	7 かえり	8 もよおす
ミリョウ	丘陵	省	催

9 こころよい	10 せんだう
快	扇動

第四問

問一 (1) ウ

問二 (1) イ

問二 (2) *

問三 エ

* 正解が複数あると想定できるとき、
全員を正答扱いとする。

第五問

問一 いとかなしゅうしたまいけり

問二 エ

問三 イ

問四 長生きして